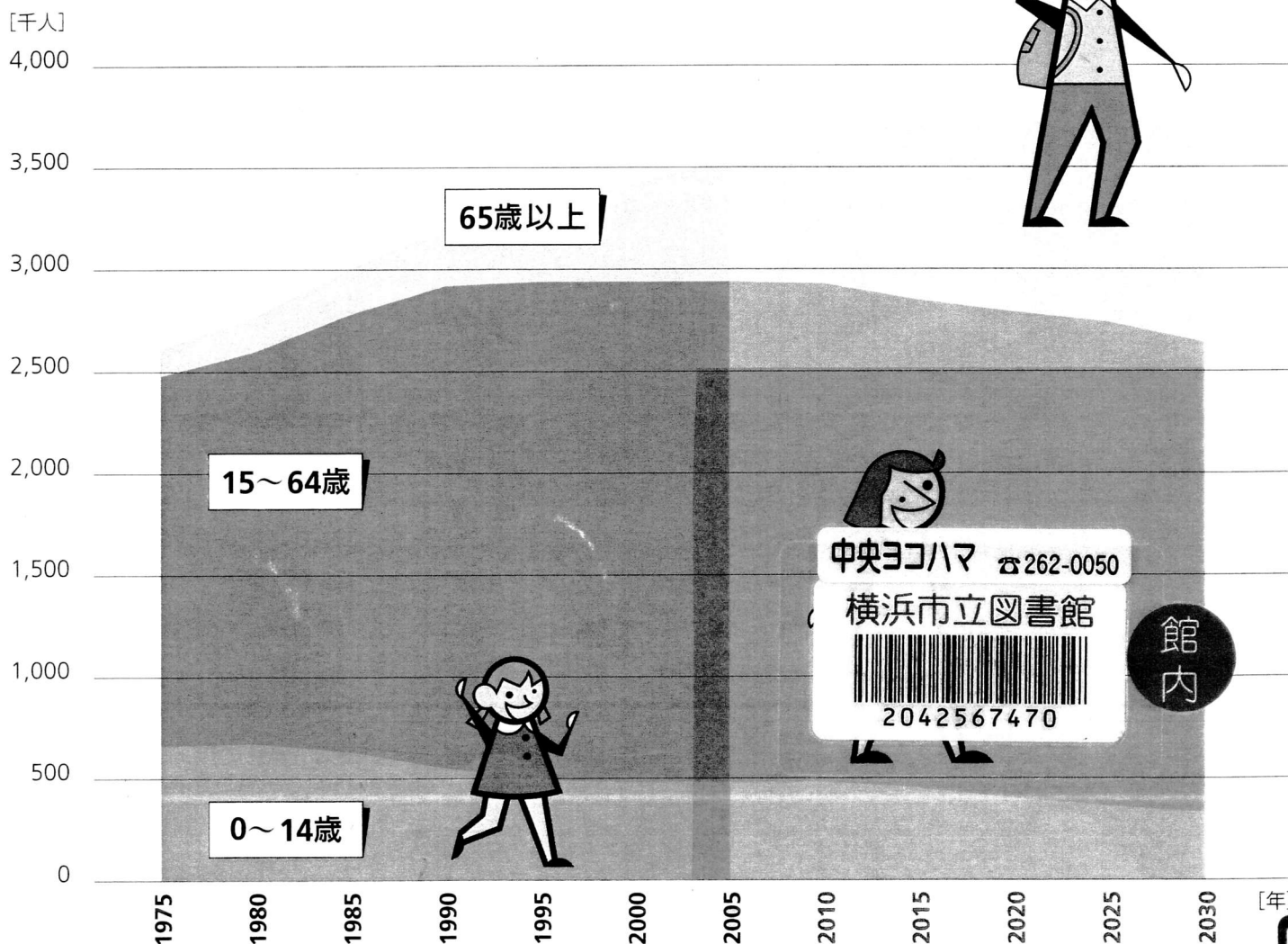


横浜市民生活白書

2009

横浜市の年齢3区分別人口の推移



2009-1

第1章 市民生活の変容

生活不安の増大と格差の実態

3

市民意識調査にみる生活不安 — 4

不安の時代の8つの市民像 — 9

市民像からみる格差の実態 — 26

◎コラム 格差社会と都市コミュニティの形成「広井良典」
急激な変化に揺らぐ雇用 — 30

小規模化する世帯とその背景にあるもの — 36

生活を支える住まいの状況 — 44

子育て・教育 経済的基盤と時間と支える関係の三要素 — 46

増幅する健康への不安 — 54

高齢者の暮らしと介護 — 58

生活保護 増え続ける被保護世帯 — 62

◎インタビュー 大都市郊外の変容と「弱い専門システム」「大江守之」 — 65

第2章 横浜で暮らしていく

67

お互いさまなつと公田町団地 — 69

南台ハイツの見守り拠点 — 72

交流サロン・庄戸 — 74

地域のなかで子どもを育てる — 緑区地域子育て支援拠点「いっぽ」 — 76

第3章 『都市・横浜』をみる

81

人口 横浜にも訪れる人口減少と進む少子・高齢化 — 82

産業・経済 急速に変わりゆく経済情勢と産業構造の変化 — 96

交通 鉄道路線を中心に高まる横浜の交通利便性 — 108

環境・エネルギー 市民生活に直結する地球規模の問題 — 112

第4章 地域の多様性にみる横浜

121

地域からみる横浜の姿 郊外の変容 — 122

地域の多様性と18区 — 132

地域からの政策形成を — 136

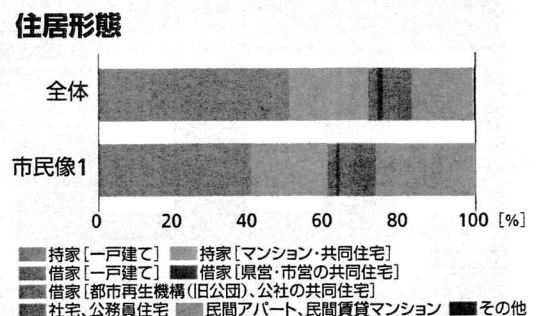
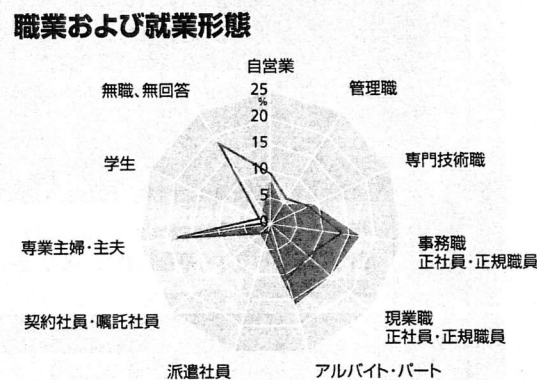
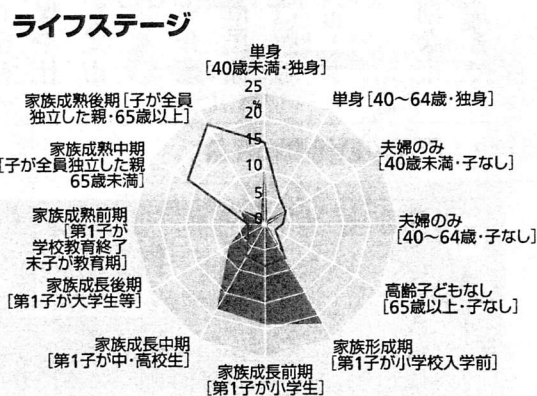
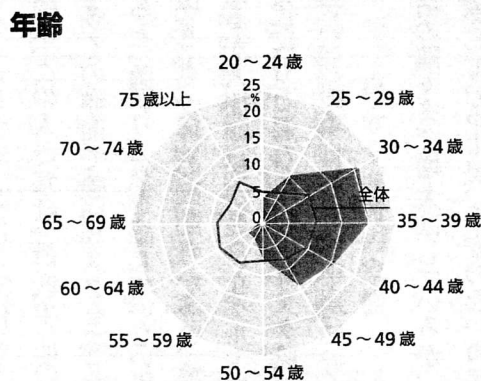
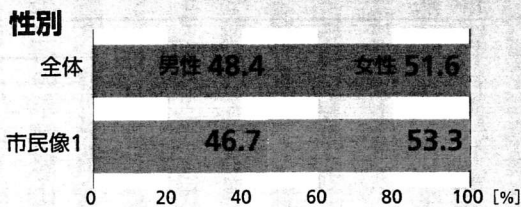
市民像

1

◎ 教育費、住居費のリスクが
5割前後で高い

このグループは、「教育費の確保」で強いリスクを感じている人が56%にもおよぶ。また、「住宅ローンや家賃の確保」で46%が、「税金や保険料の支払い」では41%が、「医療費の確保」でも4割近い人が強いリスクを感じている。「低収入、収入低下」は3割近くで、子育て期の生活を営む上で苦しい経済

市民像 1 のプロフィール



経済的に
大きな不安を抱える
子育て世代
11.4%

生活満足感、市政全体への満足度、喜びや生きがい、居住環境(住まいの環境の暮らしやすさ)の全体値については138頁を参照 | 大切にしている人は43頁を参照

状態にあることがうかがえる。

◎ 人間関係のリスク感は低い

家族や親族、友人、近隣関係などのリスク感は低く、実際に「子どもの世話」を頼める人や家事の手伝いなども、親族、友人・知人、近隣などに幅広くあり、「経済的に困ったとき」も、親族の援助を得られる割合は83%にのぼる。

◎ 生活満足度は低い

満足層は、51%と平均の64%をかなり下回り、不満層は33%で平均の19%を上回る。

◎ 喜びや生きがいは

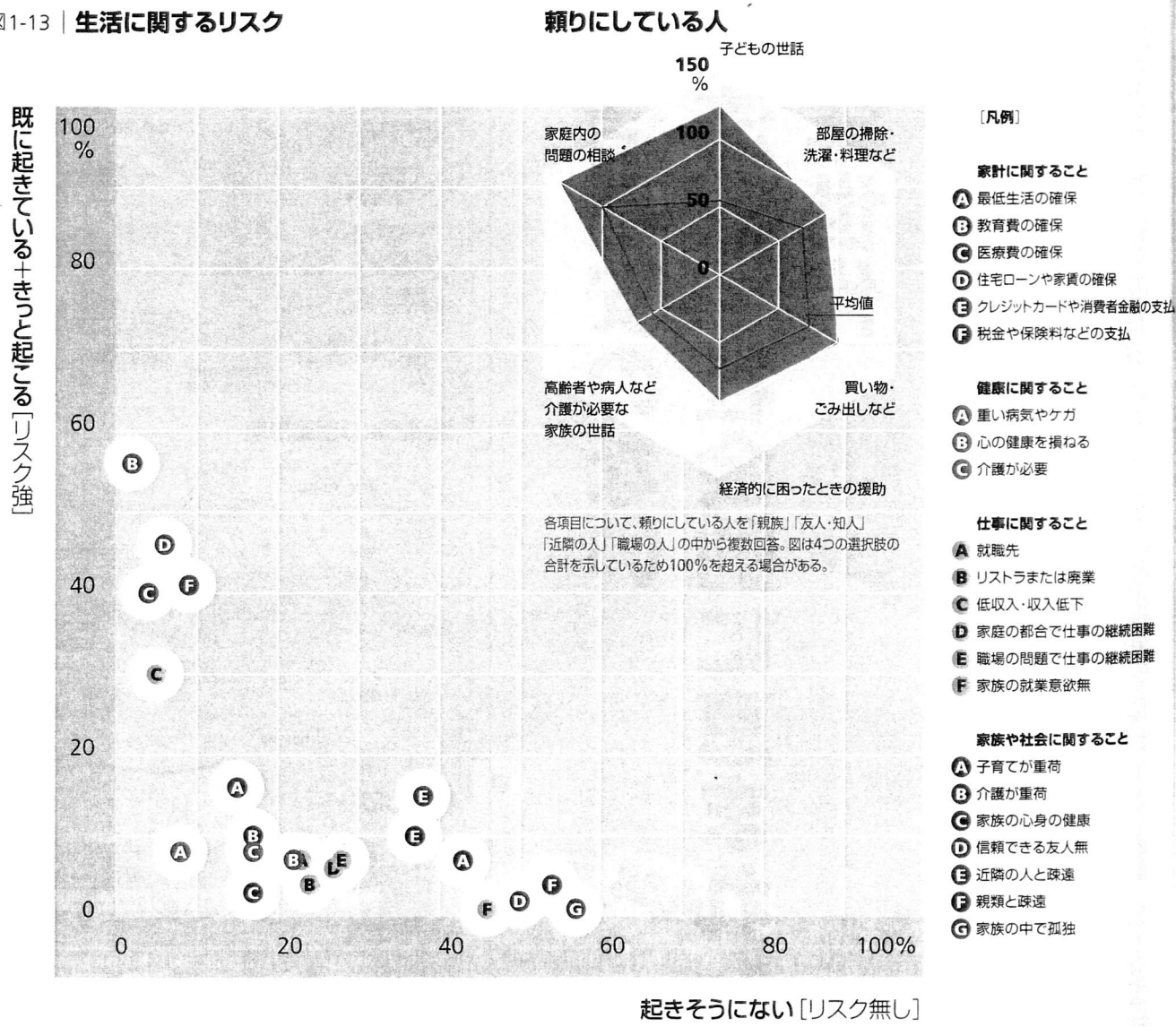
家族や友人との付き合い

「家族との団らん」「友人との付き合い」「育児・教育」をあげる人が多い。

◎ 市政への満足度も低い

満足層は21%と平均の31%よりかなり低く、不満層が31%で平均の23%を上回っている。市政要望は、「買い物道路や歩道の整備」「子育て支援や保護を要する児童の援助」「学校教育の充実」「病院・救急医療」「防犯対策」「経済的に困っている人への保護」で平均を上回っている。

図1-13 | 生活に関するリスク



各項目について、「既に起きている」「きつと起る」「起きるかもしれない」「起きそうにない」「該当しない」の中から回答。上図は項目ごとに「既に起きている」と「きつと起る」の割合の合計を縦軸に、「起きそうにない」の割合を横軸に表したものを

横浜市民意識調査

市民の日常生活について意識と行動の両面からとらえ、市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料とすることを目的に、1972（昭和47）年から毎年実施している。

- ◎対象：横浜市内に居住する満20歳以上の男女
- ◎抽出方法：層化二段無作為抽出
- ◎調査方法：戸別訪問面接聴取法、08（平成20）年度は郵送留置法

平成20年度横浜市民意識調査結果の概要

生活満足感、心配ごと、市政への満足度、市政全体への満足度、市政への要望、生活に関するリスク、大切にしている人、頼りにしている人、喜びや生きがい、住まいの環境、定住意向など全23項目について質問。標本数は5,000、回収標本は3,873（回収率77.5%）

市民像の分析は、08（平成20）年度横浜市民意識調査の質問項目のうち「生活満足感」、「心配ごと」、「生活に関するリスク」、「大切にしている人」、「頼りにしている人」の結果を使用し、数量化理論Ⅲ類及びクラスター分析によりグループ化を行った。

主な項目の単純集計結果

生活満足感		
	[%]	
満足しているほう	20.0	
まあ満足しているほう	44.4	
どちらともいえない	15.4	
やや不満があるほう	10.7	
不満があるほう	8.2	
わからない	1.2	
市政全体への満足度		
	[%]	
満足しているほう	3.8	
まあ満足しているほう	27.3	
どちらともいえない	36.5	
やや不満があるほう	12.2	
不満があるほう	10.8	
わからない	9.4	
喜びや生きがい【複数回答】		
	[%]	
趣味やスポーツ活動	56.6	
学業、教養のための勉強・学習	13.1	
仕事・商売	28.1	
子どもや孫の育児・教育	23.6	
家事	12.7	
家族との団らん	56.1	
友人との付き合い	58.5	
信仰や精神修業	5.3	
地域活動、ボランティアなど社会的な活動	6.3	
その他	1.7	
特にない	6.9	
わからない	1.2	
住まいの環境の暮らしやすさ		
	よい[%]	悪い[%]
周辺の静けさ	68.1	16.9
緑や自然やオープンスペースの豊かさ	61.9	13.7
まちなみなどの景観のよさ	47.1	15.1
安心して子どもを遊ばせることができるなど子育ての環境の良さ	40.0	15.9
学校、図書館など教育・学習環境のよさ	40.4	13.6
近所づきあいのしやすさ	43.1	13.8
交通・通勤などの便利さ	62.9	17.4
病院・医院の近さ	59.5	14.0
ふだん買い物をする場所の近さ	65.2	14.7
飲食やショッピングの便利さ	50.4	21.4
遊びや余暇活動の便利さ	36.2	20.9
防災・防犯などの安心さ	29.7	17.1



横浜市民生活白書2009

2009 [平成21] 年3月発行

編集・発行

横浜市都市経営局
政策支援センター [調査・広域行政課]
〒231-0017 横浜市中区港町1-1
TEL 045-671-4087

デザイン

NDCグラフィックス

図表デザイン

インフォグラム

印刷

ツルミ印刷株式会社

無断転載・複写を禁じます

横浜市広報印刷物登録第200508号
類別・分類 A-BC140

定価

1,000円 [本体953+税]